

大和電機工業 初代女王



日本女子リーグ順位決定節で優勝し、今年度再編されたリーグの初代女王となった大和電機工業（チーム提供）

今季の日本リーグには12チームが参加し、プラチナ、サファイアの2セグションに分かれて4～10月にレギュラーシーズンを実施。大和電機工業はプラチナセクション2位となり、両セクション2位までの計4チームで争う順位決定節の1～4位決定戦に進んだ。

順位決定節ではまず総当たりの予選リーグで争い、3チームが2勝1敗で並んだが、大和電機工業は得失点差で1位通過した。投手戦となつた決勝は7回まで大和電機工業が2勝1敗で並んだが、大和電機工業は得失点差で1位通過した。投手

大和電機工業は11回の十回打で2点を勝ち越すと、直後の守りを完投のエース右腕大串が1失点にしきひで競り勝つた。

大和電機工業はアラチナセクション2位となり、両セクション2位までの計4チームで争う順位決定節の1～4位決定戦に進んだ。

順位決定節ではまず総当たりの予選リーグで争い、3チームが2勝1敗で並んだが、大和電機工業は得失点差で1位通過した。投手

大和電機工業は11回の十回打で2点を勝ち越すと、直後の守りを完投のエース右腕大串が1失点にしきひで競り勝つた。

ライバル・静甲を一丸で撃破

ソフトボールの日本女子リーグ順位決定節は4～6日に茨城県小美玉市の希望ヶ丘公園グラウンドで行われ、大和電機工業（下諏訪町）が優勝を飾った。静甲（静岡）との決勝はタイブレークの延長十回でもつれた熱戦を3～2で制し、今夏の全日本実業団女子選手権決勝で大敗した相手に雪辱。今年度の再編で一新されたリーグの初代女王に輝いた。

（杉本哲也）

ソフトボール日本女子リーグ

△順位決定節				
①～4位決定戦予選リーグ		③位決定戦へ)		
①大和電機工業（下諏訪町） 2勝				▽3位決定戦
②静甲（静岡） 2勝				▽決勝
リオールウエーブカノヤ（鹿児島）	2勝	1敗	④シトリーンイチノミヤ（愛知）	3敗
（鹿兒島）	2勝	1敗	（愛知）	3敗
大和電機工業	000000000101	2	イチノミヤ	3～0
カノヤ	1	大和電機工業	000000000102	1
カノヤ	2	静甲	000000000103	2
カノヤ	3	大和電機	000000000104	3
カノヤ	4	静	000000000105	4
カノヤ	5	（静甲）	000000000106	5
カノヤ	6	山本（中尾）	000000000107	6
カノヤ	7	大串堀	000000000108	7
カノヤ	8	（大和）	000000000109	8
カノヤ	9	（静甲）	000000000110	9
カノヤ	10	（山本）	000000000111	10
カノヤ	11	（中尾）	000000000112	11
カノヤ	12	（大和）	000000000113	12
カノヤ	13	（静）	000000000114	13
カノヤ	14	（山本）	000000000115	14
カノヤ	15	（中尾）	000000000116	15
カノヤ	16	（大和）	000000000117	16
カノヤ	17	（静）	000000000118	17
カノヤ	18	（山本）	000000000119	18
カノヤ	19	（中尾）	000000000120	19
カノヤ	20	（大和）	000000000121	20
カノヤ	21	（静）	000000000122	21
カノヤ	22	（山本）	000000000123	23

静甲には春のオープン戦で11～18、実業団選手権でも0～9で完敗。今大会の予選リーグでも0～2で敗れていたが、実力差が埋まり互角に戦える手応えを持つなどチームは自信を持つて決勝に臨めたという。

大和電気工業の車主将は「何度もピンチはあつたが粘り強く守り、最後にきた流れを生かすことができた。ずっと勝てなかつた相手に勝つて優勝できたのはすごくうれしい」と声を弾ませ、杉野監督も「まさに死闘だったが、よく我慢してくれた」とチキンの奮闘を称賛。その上で指揮官は「まだ若いチーム。この優勝をステップに、今後は国体や全日本総合選手権でも活躍できる力をつけていきたい」と先を照らえた。